

貯 法	室温保存
-----	------

動物用医薬品

糖類剤及び血液代用剤

承認指令書番号	12 畜 A 第 3298 号
---------	-----------------

等張 **ハルゼン** 糖-V 注射液  
等張糖加乳酸リンゲル液

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、リンゲル液の1/2濃度の電解質溶液に2.2%のブドウ糖及び310mg(28mmol/L)の乳酸ナトリウムを配合し、製剤浸透圧を等張とした注射液です。等張リンゲル糖-V注射液と同様に安全性が高く、急速投与が可能で、補液の開始液として適用性が高い製品です。

本剤は、アルカリ化剤として乳酸ナトリウムを配合しているため、アシドーシスを伴う患畜における細胞外液の補給及びアシドーシスの補正に有用です。

【成分及び分量】 本品100mL中

成 分	分 量
塩化ナトリウム	300mg
塩化カリウム	15mg
塩化カルシウム水和物	10mg
乳酸ナトリウム50%液	620mg (乳酸ナトリウムとして310mg)
ブドウ糖	2.2g

【効能又は効果】

牛：細胞外液の補給、アシドーシスの補正

【用法及び用量】

体重1kg当たり下記量を1回量とし、静脈内に注射する。

成牛：1～30mL、子牛：5～50mL

なお、脱水が重度の場合又は点滴する場合は体重1kg当たり下記量を投与する。

成牛：30～100mL、子牛：50～100mL

【使用上の注意】

「基本的事項」

<p><b>1. 守らなければならないこと</b> (一般的注意)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。</li><li>・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</li><li>・本剤は牛専用なので、他の動物種には使用しないこと。</li></ul> <p>(取扱い及び廃棄のための注意)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・注射器具は滅菌されたものを使用すること。</li><li>・小児の手の届かないところに保管すること。</li><li>・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。</li><li>・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。</li><li>・変色や沈殿が認められた場合には使用しないこと。</li><li>・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li><li>・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li></ul>
---

- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

- ・尿量が減少していると推察される場合は、腎不全、心不全、高張性脱水症及び閉塞性尿路疾患の可能性があるため、獣医師に相談し使用の是非を判断すると共に、異常が現れた場合には投与を中止すること。
  - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (取扱い上の注意)
- ・本剤は静脈内投与以外は使用しないこと。
  - ・寒冷時に大量に静脈内投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。
  - ・リン酸イオン及び炭酸イオンを含む注射剤との混合で沈殿を生ずることがあるので、これらとの配合は避けること。
  - ・オキシテトラサイクリン注射液との混合で白濁することがあるので、配合は避けること。

「専門的事項」

(対象動物の使用制限等)

- ・本剤の投与により、乳酸過剰症を呈することがあるため、重度の肝機能障害のある場合は使用しないこと。
  - ・本剤の投与によりアルカローシスを助長する可能性があるため、第四胃変位等アルカローシスを呈している場合には使用しないこと。
- (重要な基本的注意)
- ・腎不全、心不全、高張性脱水症及び閉塞性尿路疾患により尿量が減少している場合に投与すると、水・電解質の異常が現れることがある。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 500mLプラスチックバイアル  
1Lプラスチックバイアル

【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元

 **日本全薬工業株式会社**  
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。